

# 令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 和歌山県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	こころの医療センター	2
海南市	海南医療センター	3
橋本市	橋本市民病院	4
有田市	市立病院	5
新宮市	新宮市立医療センター	6
高野町	高野山病院	7
すさみ町	国保すさみ病院	8
那智勝浦町	温泉病院	9
串本町	くしもと町立病院	10
国民健康保険野上厚生病院組合	国保野上厚生総合病院	11
公立那賀病院経営事務組合	公立那賀病院	12
御坊市外五ヶ町病院経営事務組合	ひだか病院	13
公立紀南病院組合	紀南病院	14
公立紀南病院組合	紀南こころの医療センター	15

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名					
病 院 名					
こころの医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,637 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	2	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	300	52.5	52.1	57.8
感染症	-	-	-	-
計	300	52.5	52.1	57.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	922,584
決算規模(千円)	643,554,071
標準財政規模(千円)	313,899,553
財政力指数	0.32297
経常収支比率(%)	86.9
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	7.7
将来負担比率(%)	194.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,300,447			
1 経常収益	2,300,447			
(1) 医業収益	1,360,986			
(うち修正医業収益)	1,266,685			
入院収益	1,090,990			
外来収益	162,256			
診療収入計	1,253,246			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	107,740			
(うち他会計負担金)	94,301			
(2) 医業外収益	939,461			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	559,015			
(うち長期前受金戻入)	22,444			
(うち資本費繰入収益)	351,787			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,050,427			
2 経常費用	2,050,427			
(1) 医業費用	1,990,213			
職員給与費	1,380,018	101.4	60.2	106.2
材料費	89,491	6.6	25.3	8.8
(うち薬品費)	63,443	4.7	13.3	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,207	1.8	11.6	1.4
減価償却費	170,706	12.5	9.0	14.3
経費	347,249	25.5	22.5	34.9
(うち委託料)	227,178	16.7	12.5	19.5
研究研修費	1,383			
資産減耗費	1,366			
(2) 医業外費用	60,214			
(うち支払利息)	52,750	3.9	1.2	2.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	250,020			
純損益	250,020			
累積欠損金	409,644			
経常収支比率	112.2		105.6	102.7
医業収支比率	68.4		85.1	60.7
修正医業収支比率	63.6		82.2	58.3
他会計繰入金対経常収益比率	28.4		11.3	31.2
他会計繰入金対医業収益比率	48.0		14.9	55.2
他会計繰入金対総収益比率	28.4		11.2	31.1
実質収益対経常費用比率	80.3		93.6	70.6

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,389,067
1 固定資産	3,059,921
(1) 有形固定資産	3,059,786
(2) 無形固定資産	135
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	329,146
(1) 現金及び預金	92,443
(2) 未収金及び未収収益	226,111
(3) 貸倒引当金( )	9,623
(4) 貯蔵品	20,215
3 繰延資産	-
負債合計	3,731,999
1 固定負債	2,834,217
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,832,234
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	1,983
2 流動負債	582,384
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	421,138
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	84,067
(6) リース債務	2,126
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	66,559
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	315,398
(1) 長期前受金	882,651
(2) 長期前受金収益化累計額( )	567,253
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-342,932
1 資本金	64,212
2 剰余金	-407,144
(1) 資本金剰余金	2,500
(2) 利益剰余金	-409,644
負債・資本合計	3,389,067
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	342,932
資本不足額(繰延収益控除後)( )	27,534
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	629,311	653,316
資本勘定繰入	251,228	377,845
計	880,539	1,031,161

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	海南市				
病院名	海南医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,377 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	150	70.0	70.4	79.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	70.0	70.4	79.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.5	12.0

設立団体の状況	
人口(人)	48,369
決算規模(千円)	25,991,995
標準財政規模(千円)	14,624,580
財政力指数	0.53
経常収支比率(%)	95.0
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	7.3
将来負担比率(%)	74.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,138,285			
1 経常収益	4,138,285			
(1) 医業収益	3,425,957			
(うち修正医業収益)	3,219,156			
入院収益	2,144,079			
外来収益	904,912			
診療収入計	3,048,991			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	376,966			
(うち他会計負担金)	206,801			
(2) 医業外収益	712,328			
(うち国・都道府県補助金)	391,125			
(うち他会計補助・負担金)	228,244			
(うち長期前受金戻入)	56,282			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,851,694			
2 経常費用	3,851,694			
(1) 医業費用	3,651,621			
職員給与費	2,110,548	61.6	60.2	66.7
材料費	705,818	20.6	25.3	17.8
(うち薬品費)	445,097	13.0	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	260,721	7.6	11.6	9.2
減価償却費	258,645	7.5	9.0	10.4
経費	565,159	16.5	22.5	28.7
(うち委託料)	235,673	6.9	12.5	13.3
研究研修費	7,562			
資産減耗費	3,889			
(2) 医業外費用	200,073			
(うち支払利息)	29,589	0.9	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	286,591			
純損益	286,591			
累積欠損金	3,615,772			
経常収支比率	107.4		105.6	105.7
医業収支比率	93.8		85.1	80.6
修正医業収支比率	88.2		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	10.5		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	96.1		93.6	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,053,653
1 固定資産	3,651,575
(1) 有形固定資産	3,517,421
(2) 無形固定資産	368
(3) 投資その他の資産	133,786
2 流動資産	1,402,078
(1) 現金及び預金	428,301
(2) 未収金及び未収収益	942,620
(3) 貸倒引当金( )	1,308
(4) 貯蔵品	32,035
3 繰延資産	-
負債合計	4,103,823
1 固定負債	2,589,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,980,617
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	200,002
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	408,990
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	607,273
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	231,037
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	16,666
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	146,911
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	200,960
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	906,941
(1) 長期前受金	1,323,099
(2) 長期前受金収益化累計額( )	416,158
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	949,830
1 資本金	4,546,777
2 剰余金	-3,596,947
(1) 資本金剰余金	18,826
(2) 利益剰余金	-3,615,773
負債・資本合計	5,053,653
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	435,045	435,045
資本勘定繰入	108,135	108,135
計	543,180	543,180

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	105.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	橋本市				
病院名	橋本市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,410 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨がへ災輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	300	78.8	80.6	81.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	78.8	80.6	81.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	16.3	15.2

設立団体の状況	
人口(人)	60,818
決算規模(千円)	28,995,150
標準財政規模(千円)	17,035,886
財政力指数	0.46
経常収支比率(%)	98.9
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	13.1
将来負担比率(%)	64.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,701,608			
1 経常収益	8,523,297			
(1) 医業収益	6,487,342			
(うち修正医業収益)	6,389,149			
入院収益	4,458,340			
外来収益	1,746,464			
診療収入計	6,204,804			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	282,538			
(うち他会計負担金)	98,193			
(2) 医業外収益	2,035,955			
(うち国・都道府県補助金)	1,446,380			
(うち他会計補助・負担金)	301,152			
(うち長期前受金戻入)	125,426			
(うち資本費繰入収益)	64,284			
(3) 特別利益	178,311			
(うち他会計繰入金)	16			
総費用	7,462,961			
2 経常費用	7,459,139			
(1) 医業費用	6,989,360			
職員給与費	3,956,944	61.0	60.2	60.7
材料費	1,190,703	18.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	543,955	8.4	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	646,748	10.0	11.6	11.7
減価償却費	319,849	4.9	9.0	9.2
経費	1,477,280	22.8	22.5	21.2
(うち委託料)	728,137	11.2	12.5	11.9
研究研修費	8,351			
資産減耗費	36,233			
(2) 医業外費用	469,779			
(うち支払利息)	124,378	1.9	1.2	1.3
(3) 特別損失	3,822			
損益				
経常	1,064,158			
純	1,238,647			
累積欠損金	2,136,477			
経常収支比率	114.3		105.6	106.9
医業収支比率	92.8		85.1	85.8
修正医業収支比率	91.4		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	4.7		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	4.6		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	108.9		93.6	96.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,993,517
1 固定資産	6,927,916
(1) 有形固定資産	6,802,547
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	125,369
2 流動資産	3,065,601
(1) 現金及び預金	1,651,378
(2) 未収金及び未収収益	1,384,790
(3) 貸倒引当金( )	1,308
(4) 貯蔵品	30,741
3 繰延資産	-
負債合計	8,414,945
1 固定負債	7,143,570
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,568,239
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	574,829
(7) 一ス債務	502
2 流動負債	1,142,137
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	575,509
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	179,377
(6) リ一ス債務	1,998
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	353,930
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	129,238
(1) 長期前受金	1,579,486
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,450,248
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,578,572
1 資本金	3,077,516
2 剰余金	-1,498,944
(1) 資本金剰余金	637,033
(2) 利益剰余金	-2,135,977
負債・資本合計	9,993,517
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	710,871	399,361
資本勘定繰入	370,573	370,905
計	1,081,444	770,266

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	有田市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,675 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	153	56.0	63.4	66.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	7.7	5.1
計	157	54.6	62.0	65.3
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	15.0	14.0

設立団体の状況	
人口(人)	26,538
決算規模(千円)	21,728,977
標準財政規模(千円)	7,709,256
財政力指数	0.52
経常収支比率(%)	94.3
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	7.4
将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,442,890			
1 経常収益	3,442,890			
(1) 医業収益	2,012,955			
(うち修正医業収益)	1,906,358			
入院収益	1,241,012			
外来収益	579,330			
診療収入計	1,820,342			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	192,613			
(うち他会計負担金)	106,597			
(2) 医業外収益	1,429,935			
(うち国・都道府県補助金)	1,078,575			
(うち他会計補助・負担金)	208,315			
(うち長期前受金戻入)	11,190			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,897,961			
2 経常費用	2,897,961			
(1) 医業費用	2,701,517			
職員給与費	1,573,858	78.2	60.2	66.7
材料費	288,482	14.3	25.3	17.8
(うち薬品費)	111,444	5.5	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	174,109	8.6	11.6	9.2
減価償却費	137,694	6.8	9.0	10.4
経費	696,812	34.6	22.5	28.7
(うち委託料)	329,380	16.4	12.5	13.3
研究研修費	4,671			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	196,444			
(うち支払利息)	16,027	0.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	544,929			
純損益	544,929			
累積欠損金	3,155,000			
経常収支比率	118.8		105.6	105.7
医業収支比率	74.5		85.1	80.6
修正医業収支比率	70.6		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.6		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	9.1		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	107.9		93.6	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,358,339
1 固定資産	2,273,886
(1) 有形固定資産	2,239,763
(2) 無形固定資産	302
(3) 投資その他の資産	33,821
2 流動資産	1,084,453
(1) 現金及び預金	463,622
(2) 未収金及び未収収益	619,984
(3) 貸倒引当金( )	10,149
(4) 貯蔵品	10,996
3 繰延資産	-
負債合計	1,354,591
1 固定負債	399,339
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	238,862
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	117,394
(7) 一ス債務	43,083
2 流動負債	787,769
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	201,843
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	250,000
(5) 引当金	88,877
(6) リ一ス債務	26,501
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	207,754
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	167,483
(1) 長期前受金	364,637
(2) 長期前受金収益化累計額( )	197,154
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,003,748
1 資本金	4,939,526
2 剰余金	-2,935,778
(1) 資本金剰余金	219,222
(2) 利益剰余金	-3,155,000
負債・資本合計	3,358,339
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	314,912	314,912
資本勘定繰入	142,480	142,480
計	457,392	457,392

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	303,400	13.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	156.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	新宮市				
病院名	新宮市立医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	21,878 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨感災地		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	300	61.0	68.7	83.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	17.1	4.2	0.3
計	304	60.4	67.9	82.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	15.7	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	27,171	
決算規模(千円)	22,254,792	
標準財政規模(千円)	9,960,290	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.3
	将来負担比率(%)	15.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,461,598			
1 経常収益	7,418,799			
(1) 医業収益	5,639,487			
(うち修正医業収益)	5,557,445			
入院収益	3,501,776			
外来収益	1,888,840			
診療収入計	5,390,616			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	248,871			
(うち他会計負担金)	82,042			
(2) 医業外収益	1,779,312			
(うち国・都道府県補助金)	1,176,686			
(うち他会計補助・負担金)	268,787			
(うち長期前受金戻入)	254,053			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	42,799			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,964,297			
2 経常費用	6,963,170			
(1) 医業費用	6,598,681			
職員給与費	3,359,758	59.6	60.2	60.7
材料費	1,455,112	25.8	25.3	24.9
(うち薬品費)	634,021	11.2	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	820,089	14.5	11.6	11.7
減価償却費	417,488	7.4	9.0	9.2
経費	1,348,824	23.9	22.5	21.2
(うち委託料)	737,021	13.1	12.5	11.9
研究研修費	14,279			
資産減耗費	3,220			
(2) 医業外費用	364,489			
(うち支払利息)	77,567	1.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	1,127			
損益	455,629			
純損益	497,301			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.5		105.6	106.9
医業収支比率	85.5		85.1	85.8
修正医業収支比率	84.2		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	4.7		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	4.7		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	101.5		93.6	96.5

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,753,786
1 固定資産	7,494,468
(1) 有形固定資産	7,484,248
(2) 無形固定資産	620
(3) 投資その他の資産	9,600
2 流動資産	3,259,318
(1) 現金及び預金	1,240,684
(2) 未収金及び未収収益	1,961,628
(3) 貸倒引当金( )	5,730
(4) 貯蔵品	48,050
3 繰延資産	-
負債合計	7,607,491
1 固定負債	4,939,677
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,112,954
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	826,723
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,482,785
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	701,153
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	181,537
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	572,097
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,185,029
(1) 長期前受金	6,023,069
(2) 長期前受金収益化累計額( )	4,838,040
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	3,146,295
1 資本金	1,967,794
2 剰余金	1,178,501
(1) 資本金剰余金	858,646
(2) 利益剰余金	319,855
負債・資本合計	10,753,786
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	797,910	350,829
資本勘定繰入	533,192	541,605
計	1,331,102	892,434

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	高野町		
病院名	高野山病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,970
決算規模(千円)	5,196,491
標準財政規模(千円)	2,370,346
財政力指数	0.20
経常収支比率(%)	77.9
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	551			
1 経常収益	551			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	551			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	551			
2 経常費用	551			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	86.6
材料費	-	-	25.3	12.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	5.1
減価償却費	-	-	9.0	12.7
経費	-	-	22.5	43.7
(うち委託料)	-	-	12.5	21.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	551			
(うち支払利息)	551	-	1.2	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	13,674			
経常収支比率	100.0		105.6	102.4
医業収支比率	-		85.1	63.8
修正医業収支比率	-		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	68.6

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)			都道府県名
			和歌山県
市町村・組合名	すさみ町		
病院名	国保すさみ病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,056 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	48	24.1	29.7	36.5
療養	24	-	-	16.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	72	24.1	29.7	29.7
平均在院日数(一般病床のみ)		26.8	37.4	38.7

設立団体の状況		
人口(人)	3,685	
決算規模(千円)	5,185,125	
標準財政規模(千円)	2,811,044	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	86.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	632,721			
1 経常収益	632,721			
(1) 医業収益	418,079			
(うち修正医業収益)	378,391			
入院収益	95,328			
外来収益	247,246			
診療収入計	342,574			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	75,505			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	214,642			
(うち国・都道府県補助金)	1,116			
(うち他会計補助・負担金)	194,812			
(うち長期前受金戻入)	14,251			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	652,607			
2 経常費用	652,607			
(1) 医業費用	631,430			
職員給与費	386,819	92.5	60.2	76.8
材料費	128,914	30.8	25.3	14.4
(うち薬品費)	113,717	27.2	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,063	2.9	11.6	6.0
減価償却費	25,014	6.0	9.0	11.4
経費	89,750	21.5	22.5	31.5
(うち委託料)	33,075	7.9	12.5	14.5
研究研修費	933			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	21,177			
(うち支払利息)	432	0.1	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常				
純				
損	-19,886			
益	-19,886			
累積欠損金	643,189			
経常収支比率	97.0		105.6	103.4
医業収支比率	66.2		85.1	74.3
修正医業収支比率	59.9		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	37.1		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	56.1		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	37.1		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	61.0		93.6	79.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	530,694
1 固定資産	386,466
(1) 有形固定資産	384,359
(2) 無形固定資産	2,107
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	144,228
(1) 現金及び預金	83,068
(2) 未収金及び未収収益	54,231
(3) 貸倒引当金( )	539
(4) 貯蔵品	7,468
3 繰延資産	-
負債合計	687,198
1 固定負債	452,840
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	71,925
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	380,915
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	73,557
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,351
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,379
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,827
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	160,801
(1) 長期前受金	355,808
(2) 長期前受金収益化累計額( )	195,007
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	-156,504
1 資本金	357,753
2 剰余金	-514,257
(1) 資本金剰余金	118,932
(2) 利益剰余金	-633,189
負債・資本合計	530,694
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	156,504
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	302,349	234,500
資本勘定繰入	8,597	15,500
計	310,946	250,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	153.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	那智勝浦町				
病院名	温泉病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,261 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	120	81.2	90.6	87.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	81.2	90.6	87.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.5	19.7	28.7

設立団体の状況	
人口(人)	14,137
決算規模(千円)	10,232,153
標準財政規模(千円)	5,582,936
財政力指数	0.32
経常収支比率(%)	88.3
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	7.8
将来負担比率(%)	26.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,651,257			
1 経常収益	2,574,708			
(1) 医業収益	1,796,926			
(うち修正医業収益)	1,751,706			
入院収益	1,255,726			
外来収益	444,578			
診療収入計	1,700,304			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	96,622			
(うち他会計負担金)	45,220			
(2) 医業外収益	777,782			
(うち国・都道府県補助金)	324,088			
(うち他会計補助・負担金)	239,699			
(うち長期前受金戻入)	147,123			
(うち資本費繰入収益)	54,851			
(3) 特別利益	76,549			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,388,741			
2 経常費用	2,388,618			
(1) 医業費用	2,256,845			
職員給与費	1,267,239	70.5	60.2	66.7
材料費	244,096	13.6	25.3	17.8
(うち薬品費)	91,456	5.1	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	125,995	7.0	11.6	9.2
減価償却費	259,087	14.4	9.0	10.4
経費	481,346	26.8	22.5	28.7
(うち委託料)	250,481	13.9	12.5	13.3
研究研修費	4,711			
資産減耗費	366			
(2) 医業外費用	131,773			
(うち支払利息)	14,588	0.8	1.2	1.3
(3) 特別損失	123			
経常損益	186,090			
純損益	262,516			
累積欠損金	605,733			
経常収支比率	107.8		105.6	105.7
医業収支比率	79.6		85.1	80.6
修正医業収支比率	77.6		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.9		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	10.7		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	95.9		93.6	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,021,425
1 固定資産	4,310,114
(1) 有形固定資産	4,257,201
(2) 無形固定資産	1,682
(3) 投資その他の資産	51,231
2 流動資産	711,311
(1) 現金及び預金	349,070
(2) 未収金及び未収収益	359,732
(3) 貸倒引当金( )	7,217
(4) 貯蔵品	8,114
3 繰延資産	-
負債合計	4,973,913
1 固定負債	3,297,049
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,849,562
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	444,335
(7) 一ス債務	3,152
2 流動負債	375,547
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	205,331
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	84,467
(6) リ一ス債務	1,223
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	84,426
(9) 前受金及び前受収益	100
3 繰延収益	1,301,317
(1) 長期前受金	1,814,042
(2) 長期前受金収益化累計額( )	512,725
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	47,512
1 資本金	505,937
2 剰余金	-458,425
(1) 資本金剰余金	147,308
(2) 利益剰余金	-605,733
負債・資本合計	5,021,425
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	227,448	284,919
資本勘定繰入	64,067	97,561
計	291,515	382,480

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)			都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	串本町			
病院名	くしもと町立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	9,917 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院		
診療科数	10	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上～200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	90	74.2	72.0	71.4
療養	40	57.6	54.7	67.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	130	69.1	66.6	70.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	17.4	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	14,959	
決算規模(千円)	12,722,342	
標準財政規模(千円)	6,444,250	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	78.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,214,351			
1 経常収益	2,214,351			
(1) 医業収益	1,651,449			
(うち修正医業収益)	1,611,761			
入院収益	1,036,008			
外来収益	494,363			
診療収入計	1,530,371			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	121,078			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	562,902			
(うち国・都道府県補助金)	101,216			
(うち他会計補助・負担金)	373,134			
(うち長期前受金戻入)	69,361			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,119,248			
2 経常費用	2,119,248			
(1) 医業費用	2,026,359			
職員給与費	1,057,737	64.0	60.2	66.7
材料費	297,039	18.0	25.3	17.8
(うち薬品費)	88,123	5.3	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	181,770	11.0	11.6	9.2
減価償却費	162,605	9.8	9.0	10.4
経費	504,479	30.5	22.5	28.7
(うち委託料)	256,222	15.5	12.5	13.3
研究研修費	3,377			
資産減耗費	1,122			
(2) 医業外費用	92,889			
(うち支払利息)	19,144	1.2	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	95,103			
純損益	95,103			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.5		105.6	105.7
医業収支比率	81.5		85.1	80.6
修正医業収支比率	79.5		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.6		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	25.0		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	18.6		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	85.0		93.6	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,208,077
1 固定資産	2,744,982
(1) 有形固定資産	2,735,887
(2) 無形固定資産	1,795
(3) 投資その他の資産	7,300
2 流動資産	463,095
(1) 現金及び預金	145,140
(2) 未収金及び未収収益	340,830
(3) 貸倒引当金( )	43,216
(4) 貯蔵品	20,341
3 繰延資産	-
負債合計	2,653,175
1 固定負債	1,372,502
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,104,419
(2) その他の企業債	218,911
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,172
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	356,851
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	164,341
(2) その他の企業債	19,889
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,439
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	97,315
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	923,822
(1) 長期前受金	1,634,318
(2) 長期前受金収益化累計額( )	710,496
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	554,902
1 資本金	405,789
2 剰余金	149,113
(1) 資本金剰余金	110,999
(2) 利益剰余金	38,114
負債・資本合計	3,208,077
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,856	412,822
資本勘定繰入	54,076	135,854
計	246,932	548,676

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	国民健康保険野上厚生病院組合		
病院名	国保野上厚生総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	18,938 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	11	指定病院の状況	救へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	100	58.6	61.5	69.0
療養	54	84.9	78.6	82.4
結核	-	-	-	-
精神	100	86.6	91.8	91.3
感染症	-	-	-	-
計	254	75.2	77.1	80.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	19.2	17.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,520,187			
1 経常収益	3,520,187			
(1) 医業収益	2,203,152			
(うち修正医業収益)	2,094,745			
入院収益	1,551,023			
外来収益	406,158			
診療収入計	1,957,181			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	245,971			
(うち他会計負担金)	108,407			
(2) 医業外収益	1,317,035			
(うち国・都道府県補助金)	538,623			
(うち他会計補助・負担金)	622,032			
(うち長期前受金戻入)	27,096			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,059,853			
2 経常費用	3,055,136			
(1) 医業費用	2,719,380			
職員給与費	1,700,032	77.2	60.2	64.0
材料費	195,664	8.9	25.3	19.9
(うち薬品費)	102,797	4.7	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	86,992	3.9	11.6	9.6
減価償却費	209,228	9.5	9.0	9.9
経費	588,653	26.7	22.5	28.4
(うち委託料)	308,058	14.0	12.5	13.7
研究研修費	2,824			
資産減耗費	22,979			
(2) 医業外費用	335,756			
(うち支払利息)	52,383	2.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	4,717			
損益	465,051			
純損益	460,334			
累積欠損金	2,567,667			
経常収支比率	115.2		105.6	104.2
医業収支比率	81.0		85.1	81.4
修正医業収支比率	77.0		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	20.8		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	33.2		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	20.8		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	91.3		93.6	91.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,157,979
1 固定資産	4,388,451
(1) 有形固定資産	4,297,049
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	91,256
2 流動資産	769,528
(1) 現金及び預金	202,957
(2) 未収金及び未収収益	554,006
(3) 貸倒引当金( )	483
(4) 貯蔵品	13,048
3 繰延資産	-
負債合計	4,381,603
1 固定負債	3,083,946
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,814,521
(2) その他の企業債	150,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	119,425
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	875,241
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	323,016
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	138,422
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	150,000
(8) 未払金及び未払費用	147,987
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	422,416
(1) 長期前受金	680,707
(2) 長期前受金収益化累計額( )	258,291
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	776,376
1 資本金	3,232,540
2 剰余金	-2,456,164
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,456,164
負債・資本合計	5,157,979
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	730,439	730,439
資本勘定繰入	86,388	86,388
計	816,827	816,827

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	144,770	6.9
令和元年度	224,059	10.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	116.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和3年度)</b>		都道府県名	
		和歌山県	
市町村・組合名	公立那賀病院経営事務組合		
病院名	公立那賀病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	22,708 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	300	70.4	72.4	83.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	9.8	-
計	304	69.4	71.6	82.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	14.0	13.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,253,514			
1 経常収益	9,253,514			
(1) 医業収益	6,303,181			
(うち修正医業収益)	6,134,701			
入院収益	3,884,923			
外来収益	2,073,516			
診療収入計	5,958,439			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	344,742			
(うち他会計負担金)	168,480			
(2) 医業外収益	2,950,333			
(うち国・都道府県補助金)	2,159,931			
(うち他会計補助・負担金)	336,399			
(うち長期前受金戻入)	206,157			
(うち資本費繰入収益)	167,424			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,362,663			
2 経常費用	7,362,663			
(1) 医業費用	6,980,130			
職員給与費	3,225,592	51.2	60.2	60.7
材料費	1,620,846	25.7	25.3	24.9
(うち薬品費)	975,354	15.5	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	637,396	10.1	11.6	11.7
減価償却費	599,195	9.5	9.0	9.2
経費	1,481,179	23.5	22.5	21.2
(うち委託料)	748,507	11.9	12.5	11.9
研究研修費	12,688			
資産減耗費	40,630			
(2) 医業外費用	382,533			
(うち支払利息)	88,264	1.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	1,890,851			
純損益	1,890,851			
累積欠損金	2,016,766			
経常収支比率	125.7		105.6	106.9
医業収支比率	90.3		85.1	85.8
修正医業収支比率	87.9		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	5.5		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	8.0		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	5.5		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	118.8		93.6	96.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,142,280
1 固定資産	7,856,885
(1) 有形固定資産	7,842,465
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	14,420
2 流動資産	4,285,395
(1) 現金及び預金	2,715,649
(2) 未収金及び未収収益	1,476,847
(3) 貸倒引当金( )	8,702
(4) 貯蔵品	101,601
3 繰延資産	-
負債合計	6,705,452
1 固定負債	3,935,088
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,935,088
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	1,463,616
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	868,875
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	195,577
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	385,352
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,306,748
(1) 長期前受金	3,136,931
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,830,183
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	5,436,828
1 資本金	7,239,169
2 剰余金	-1,802,341
(1) 資本剰余金	214,425
(2) 利益剰余金	-2,016,766
負債・資本合計	12,142,280
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	907,813	504,879
資本勘定繰入	567,266	554,414
計	1,475,079	1,059,293

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				和歌山県	
市町村・組合名	御坊市外五ヶ町病院経営事務組合				
病院名	ひだか病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	27,072 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	263	78.7	71.0	81.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	55.8	61.7	72.6
感染症	4	54.2	30.8	1.2
計	367	72.2	68.0	78.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	14.9	17.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,704,918			
1 経常収益	7,704,918			
(1) 医業収益	5,482,750			
(うち修正医業収益)	5,417,681			
入院収益	3,769,402			
外来収益	1,439,712			
診療収入計	5,209,114			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	273,636			
(うち他会計負担金)	65,069			
(2) 医業外収益	2,222,168			
(うち国・都道府県補助金)	1,270,318			
(うち他会計補助・負担金)	720,212			
(うち長期前受金戻入)	123,742			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,104,512			
2 経常費用	7,084,232			
(1) 医業費用	6,655,687			
職員給与費	3,730,614	68.0	60.2	60.7
材料費	1,272,909	23.2	25.3	24.9
(うち薬品費)	596,351	10.9	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	608,914	11.1	11.6	11.7
減価償却費	484,127	8.8	9.0	9.2
経費	1,162,043	21.2	22.5	21.2
(うち委託料)	377,106	6.9	12.5	11.9
研究研修費	4,811			
資産減耗費	1,183			
(2) 医業外費用	428,545			
(うち支払利息)	62,323	1.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	20,280			
損益	620,686			
純損益	600,406			
累積欠損金	5,092,598			
経常収支比率	108.8		105.6	106.9
医業収支比率	82.4		85.1	85.8
修正医業収支比率	81.4		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	14.3		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	10.2		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	97.7		93.6	96.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,015,883
1 固定資産	7,942,273
(1) 有形固定資産	7,632,333
(2) 無形固定資産	477
(3) 投資その他の資産	309,463
2 流動資産	2,073,610
(1) 現金及び預金	769,496
(2) 未収金及び未収収益	1,262,945
(3) 貸倒引当金( )	1,276
(4) 貯蔵品	42,145
3 繰延資産	-
負債合計	7,467,297
1 固定負債	4,505,824
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,452,710
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	53,114
2 流動負債	1,209,219
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	325,020
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	297,832
(6) リリース債務	53,730
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	503,780
(9) 前受金及び前受収益	13,700
3 繰延収益	1,752,254
(1) 長期前受金	2,863,584
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,111,330
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	2,548,586
1 資本金	6,756,919
2 剰余金	-4,208,333
(1) 資本剰余金	884,265
(2) 利益剰余金	-5,092,598
負債・資本合計	10,015,883
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	760,853	785,281
資本勘定繰入	185,245	223,485
計	946,098	1,008,766

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	563,746	9.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	92.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	公立紀南病院組合				
病院名	紀南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	41,959 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	352	70.6	70.0	85.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	49.6	52.2
感染症	4	34.8	61.9	8.1
計	356	70.2	62.7	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.4	12.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,865,371			
1 経常収益	11,828,243			
(1) 医業収益	9,616,740			
(うち修正医業収益)	9,550,148			
入院収益	5,547,578			
外来収益	3,581,150			
診療収入計	9,128,728			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	488,012			
(うち他会計負担金)	66,592			
(2) 医業外収益	2,211,503			
(うち国・都道府県補助金)	1,437,222			
(うち他会計補助・負担金)	373,702			
(うち長期前受金戻入)	244,734			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	37,128			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,065,690			
2 経常費用	11,064,238			
(1) 医業費用	10,397,294			
職員給与費	5,085,982	52.9	60.2	60.7
材料費	3,165,095	32.9	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,902,690	19.8	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,261,001	13.1	11.6	11.7
減価償却費	457,682	4.8	9.0	9.2
経費	1,628,082	16.9	22.5	21.2
(うち委託料)	799,924	8.3	12.5	11.9
研究研修費	54,256			
資産減耗費	6,197			
(2) 医業外費用	666,944			
(うち支払利息)	51,503	0.5	1.2	1.3
(3) 特別損失	1,452			
損益	764,005			
純損益	799,681			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.9		105.6	106.9
医業収支比率	92.5		85.1	85.8
修正医業収支比率	91.9		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	3.7		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	4.6		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	3.7		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	102.9		93.6	96.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,574,050
1 固定資産	10,237,385
(1) 有形固定資産	10,138,984
(2) 無形固定資産	6,375
(3) 投資その他の資産	92,026
2 流動資産	5,336,665
(1) 現金及び預金	3,154,348
(2) 未収金及び未収収益	2,095,310
(3) 貸倒引当金( )	5,502
(4) 貯蔵品	92,509
3 繰延資産	-
負債合計	8,369,663
1 固定負債	4,535,277
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,463,277
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	72,000
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,119,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	818,955
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	390,670
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	862,798
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,714,777
(1) 長期前受金	6,865,972
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,151,195
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	7,204,387
1 資本金	2,844,137
2 剰余金	4,360,250
(1) 資本金剰余金	377,170
(2) 利益剰余金	3,983,080
負債・資本合計	15,574,050
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	399,616	440,294
資本勘定繰入	437,370	502,719
計	836,986	943,013

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 和歌山県	
市町村・組合名	公立紀南病院組合				
病院名	紀南こころの医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,421 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	198	47.6	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	47.6	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,418,787			
1 経常収益	1,418,787			
(1) 医業収益	983,664			
(うち修正医業収益)	983,664			
入院収益	512,273			
外来収益	461,986			
診療収入計	974,259			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	9,405			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	435,123			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	385,247			
(うち長期前受金戻入)	40,631			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,376,244			
2 経常費用	1,376,244			
(1) 医業費用	1,330,923			
職員給与費	786,445	80.0	60.2	66.7
材料費	253,343	25.8	25.3	17.8
(うち薬品費)	241,957	24.6	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	11,168	1.1	11.6	9.2
減価償却費	47,178	4.8	9.0	10.4
経費	241,811	24.6	22.5	28.7
(うち委託料)	105,754	10.8	12.5	13.3
研究研修費	2,146			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	45,321			
(うち支払利息)	9	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	42,543			
純損益	42,543			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.1		105.6	105.7
医業収支比率	73.9		85.1	80.6
修正医業収支比率	73.9		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	27.2		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	39.2		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	27.2		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	75.1		93.6	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,574,050
1 固定資産	10,237,385
(1) 有形固定資産	10,138,984
(2) 無形固定資産	6,375
(3) 投資その他の資産	92,026
2 流動資産	5,336,665
(1) 現金及び預金	3,154,348
(2) 未収金及び未収収益	2,095,310
(3) 貸倒引当金( )	5,502
(4) 貯蔵品	92,509
3 繰延資産	-
負債合計	8,369,663
1 固定負債	4,535,277
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,463,277
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	72,000
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,119,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	818,955
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	390,670
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	862,798
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,714,777
(1) 長期前受金	6,865,972
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,151,195
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	7,204,387
1 資本金	2,844,137
2 剰余金	4,360,250
(1) 資本金剰余金	377,170
(2) 利益剰余金	3,983,080
負債・資本合計	15,574,050
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	385,247	385,247
資本勘定繰入	11,176	11,176
計	396,423	396,423

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。